

唐古・鍵遺跡史跡公園完成予想図

多重環濠エリア

集落を囲んでいた環濠を復元。洪水や外敵から集落を守るため、また物資を運ぶ運河として、何重にも溝を掘り巡らしていました。



楼閣

遺跡で発見された土器に描かれていた建物「楼閣」を、江戸時代に築造された農業用溜池の南西隅に復元。遺跡の、また町のシンボルタワーとなっています。

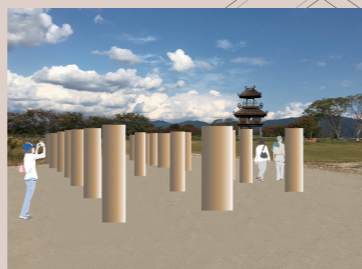
遺構展示情報館

遺跡や公園全体のガイダンスの場となる施設。発掘調査で発見された大型建物跡の柱穴を型取りした模型を展示し、発掘時の状況を再現します。



弥生の建物広場

広場の南側では、発掘調査で発見された大型建物跡を柱のみで表現。また、竪穴住居も復元します。



弥生の林エリア

弥生の風景の再現のため、当時の植生に即した樹木や草花を植えています。散策や植物観察、生き物観察といった自然学習を行います。



生活体験広場

弥生の生活を体験できる広場で、休憩所やトイレを併設します。土器の野焼きや火おこし、復元土器を使った炊飯など、さまざまなイベントを行う場となります。



史跡公園 唐古・鍵遺跡

弥生の風景と生活の再現



平成30年
オープン

唐古・鍵遺跡史跡公園

所在地 / 田原本町大字唐古、鍵
公園面積 / 約102,000㎡
主な施設 / 遺構展示情報館、トイレ、休憩所、倉庫、屋外展示施設(大型建物、環濠)、復元楼閣

小学生向け歴史体験学習プログラムの一例



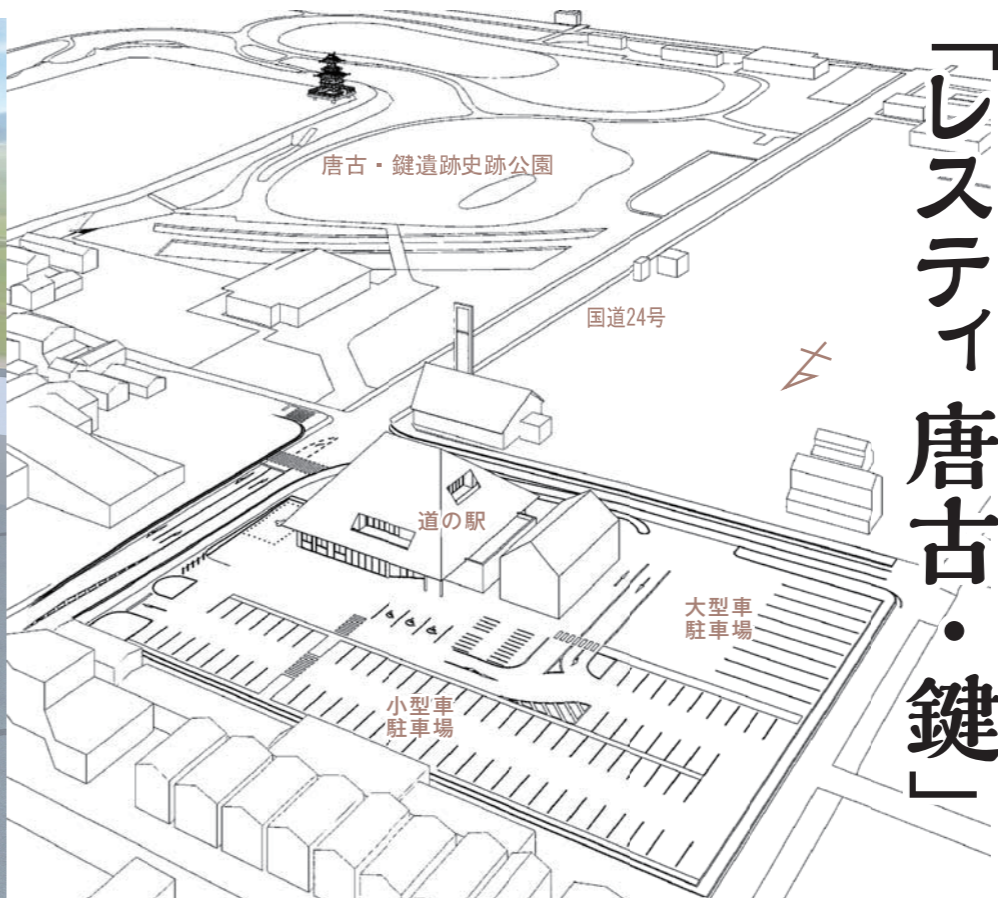
「史跡公園のすがた」
国史跡の指定を受けた唐古・鍵遺跡では、地下の遺構を恒久的に保存するとともに、史跡公園として活用を図るため、指定直後の平成11年度より土地の公有化を行ってまいりました。平成21年度からは本格的な工事に着手し、順次工事を進めています。
この公園では、国史跡という特色を生かし、周囲の田園風景を含めた弥生時代の「風景」の再現と、かつてこの場で行われていたであろう「生活」を追体験できる場となることを目指しています。また、道の駅や唐古・鍵考古学ミュージアムと足並みをそろえた整備を行ってまいります。開園後は三施設が事業連携を行うことで、本町における体験型教育の場、観光拠点の創出を図ります。

地域の憩いの場、観光の拠点となる

唐古・鍵遺跡史跡公園 のコンシエールジュ

道の駅

「レスティ 唐古・鍵」



史跡公園と一体になった 新しい交流施設の誕生

唐古・鍵遺跡史跡公園と隣接し、さまざまな観光サービスを提供する交流施設「道の駅」が、平成30年に誕生します。駐車場から史跡公園へ向かう主要動線には、唐古・鍵遺跡や町及び県中南和地域の観光案内と地場産品の買物・食事を提供する「此処でこそのもてなしの場」があり、史跡公園への期待感を高める施設となります。

特徴的な寄棟造りの大屋根は、国道24号を走る車からも

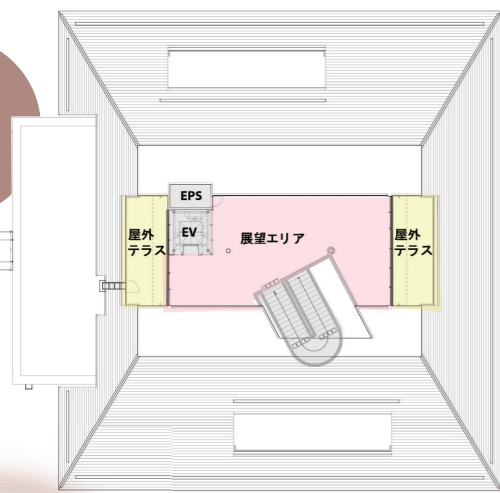
よく見えるので、新しい田原本町のランドマークとなります。この大きな寄棟屋根の「道の駅」と、史跡公園の「楼閣」という対峙する2つの建物が、このエリアのシンボルとして特徴的な建物風景を生み出します。

館内では地元の新鮮な野菜、特産品の販売や飲食店を展開。また若い女性も訪れやすい美しく、清潔でおしゃれな空間を演出します。地元客で日常的に賑わい、観光客は非日常感が楽しめる交流施設を目指します。

平成30年オープン 道の駅「レスティ 唐古・鍵」

所在地 / 田原本町大字唐古70番1
施設面積 / 1,339㎡(道路休憩施設含む)
休憩施設 / 駐車場85台、トイレ男女計38基
その他施設 / 歴史交流エリア、情報エリア、店舗(農産物、物販)、飲食店、キッズコーナー、授乳室、多目的室、展望エリア、EV充電施設

3F



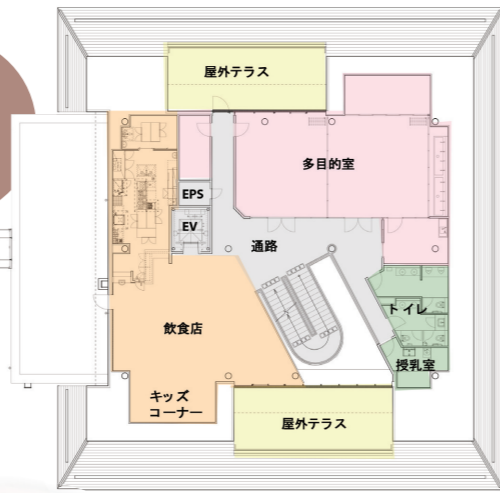
田原本の豊かな景観を望む
展望エリア



大和青垣・二上山の眺望や史跡公園を一望できる展望エリア。田原本の豊かな景観を眺めることができます。

※P11.12に掲載している画像は、いずれも計画段階のイメージです。

2F

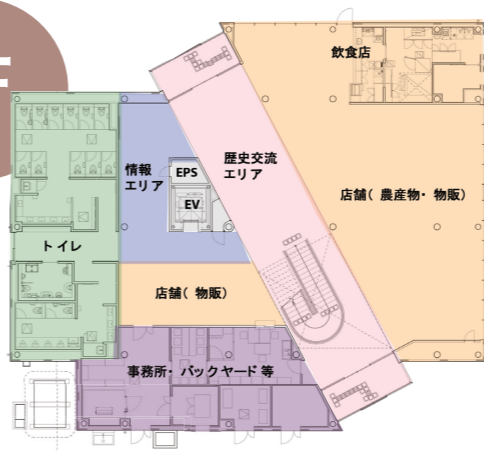


多彩な教室や食を楽しむ
体験エリア



屋外テラスと吹き抜け空間に面した飲食店では、キッズコーナーなどを設けて、全ての来訪者が気軽に休憩でき、癒しを感じることができます。また、多目的室では土器作りなど弥生時代の体験学習ができます。

1F



史跡公園への期待感を高める
交流エリア



地元の新鮮な野菜や特産品の販売店、簡易的な飲食店が並び、にぎわいを創出。観光情報を提供し、田原本町を広くPRしていきます。